



はまゆう

第86号 秋晴号 令和3年9月28日発行

発行：社会福祉法人信愛会
 土肥ホーム
 住所：〒410-3301 静岡県伊豆市小土肥787-2
 電話：0558-98-2900
 発行者：福室悦子
 戸田デイサービスセンター
 住所：〒410-3402 静岡県沼津市戸田1575-1
 電話：0558-94-5550



★ 土肥ホームから眺める秋の夕日

「感染症(新型コロナウイルス)」
 「地震・津波」
 「風水害」
 などの緊急時に備えています！

介護施設における
 事業継続計画書
 (地震・津波編)

新型コロナウイルス感染症発生時
 事業継続計画(BCP)

社会福祉法人信愛会 土肥ホーム・菜の花ホーム

令和3年4月1日

※BCP(事業継続計画)の策定
 災害などの緊急事態が発生した時に、
 損害を最小限に抑え、事業の継続や
 復旧を図るための計画



社会福祉法人 信愛会
 土肥ホーム
 土肥老人ホーム
 菜の花ホーム
 土肥デイサービスセンター



★ 静岡DWAT(静岡災害派遣福祉チーム)の活動に参加
 ※熱海市伊豆山地区に派遣

信愛会
 理念
 愛・信頼・貢献

2021 夏～秋の出来事

～土肥デイ編～

～芸術の秋を探しに～



貼り絵を一つの絵画のように描いていきます。できた作品はデイホール内へ展示。ホール内は美術館にいらるような名作ぞろい。



写真の中から一句
『朝湯あび
知らぬ同士で
恵比寿顔』
楽しんでご利用いただいている事が分かる俳句です。

山口町子作



土肥・戸田 ホームページ

土肥ホーム



土肥ホームの日々 検索

戸田デイサービス

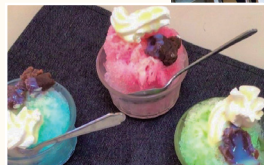


戸田デイサービスの日々 検索

ホームページでは日常の様子や出来事、様々な取り組み等も公開中。
是非、ご覧下さい。

～特養編～

～美味しく暑さを吹き飛ばそう～



今年も暑いですが！夏といえばカキ氷!!
ということで皆でカキ氷を食べてクールダウンしました。コロナもあり外出は出来ませんが施設の中でも屋台に行ったような気分を味わって頂きました。



～戸田デイ編～

～戸田こども園とプレゼント交換～



毎年楽しいな交流会はコロナ禍で断念…。代わりに、戸田デイから「恵比寿さん」と「めで鯛」の貼り絵を、戸田こども園からは、園児の似顔絵とメッセージが届きました！こども園からのプレゼントはホール内に展示しています。

～菜の花ホーム編～

～毎年恒例 納涼祭！～



射的コーナー

もしかして、この構えは射的のプロ？懐かしの景品を前に、さて何を狙おうか…



輪投げコーナー

輪投げの景品全部取っちゃったみたい!?こちらには、輪投げのプロが!?お見事です。

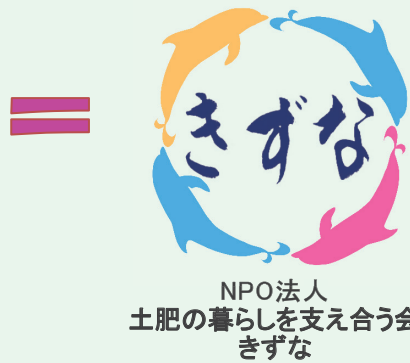
～土肥地区の高齢者を支える新たな仕組みづくり～

R2.6 新たな社会資源 誕生

地域
住民



地域共生を目的とした地域住民の主体的な社会活動を支援



土肥の暮らしを支え合う会
きずな

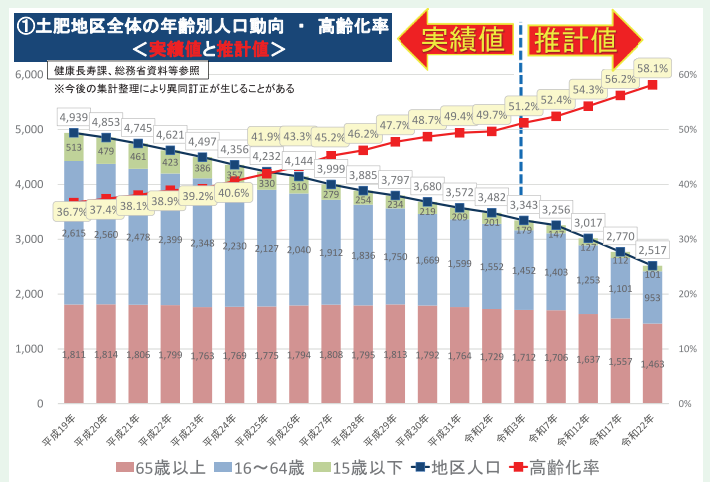
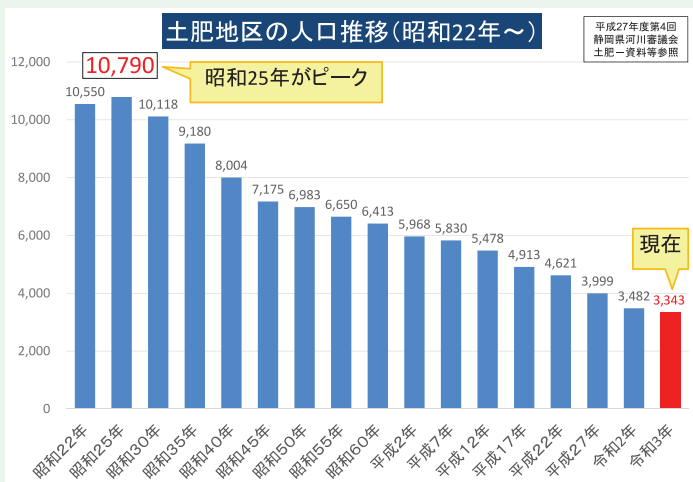


ホームページ

土肥地区の地域課題

土肥地区は、人口3,343人に対して65歳以上が1,712人で生産年齢の人口減少が原因で高齢化が進む地域です。(令和3年4月現在 高齢化率 51.2%) 今後、更なる高齢化の進行と生産年齢の人口減少による高齢者支援の担い手不足が深刻な地域課題になっています。このことにより、介護人材不足が顕著で、介護認定を受けても介護保険サービスが希望通りに利用できない状況が発生しています。そこで、数年前から、土肥地区地域包括支援センターが主体となって、地域住民さん達と土肥ホームの連携を促進し「土肥地区オリジナルの地域支え合い体制作り」に取り組んでいます。

～ご存じですか？土肥地区の人口動向～



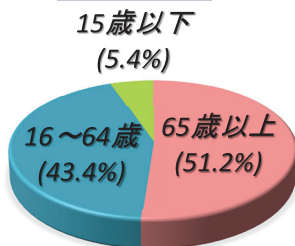
昭和25年以降人口減少が続いています。

65歳以上の人口はこの先も横ばい一方、生産年齢の人口は増々減少・・・つまり、この先も担い手不足が続く。

伊豆市土肥地区の人口構成 (R3.4.1現在)

※令和3年4月1日現在

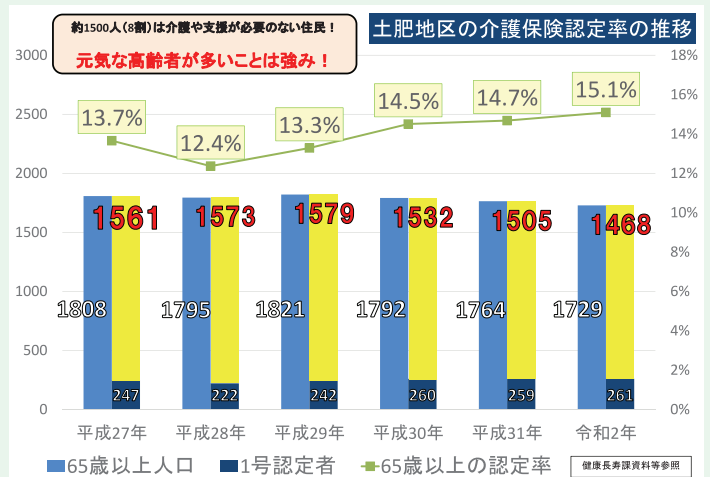
土肥地区人口 3343人
 高齢化率 51.2%
 65歳以上 1712人
 (男731人:女981人)
 16歳～64歳 1452人
 15歳以下 179人



少子高齢化の最先端の地域

伊豆市(土肥地区) 指定区別年齢男女別人口調査参照 R3.4.1作成資料

土肥地区の2人に1人が65歳以上。



全国平均18.7% 静岡県平均16.4%

次号へ続く

令和2年度 事業報告・決算報告

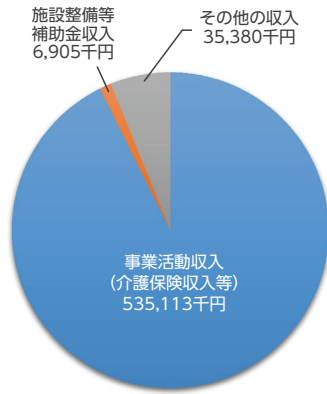
令和2年度事業では新型コロナウイルス感染症に関する感染予防、発生時対応など災害を想定し、地域の介護サービスが困難な状況においても事業継続又は再開できるような様々な体制の構築に取組んだ1年であった。新たな試みとして出張研修のオンライン化やコロナ対策としてウェブ面会などICTの積極的な導入により、革新的な業務改善と効率化に繋がった。

事業課題である土肥・戸田地区における持続可能な事業継続の構築を目的とした柱の一つに介護人材の不足の対応があるが居系職員の一部兼務化を進め、緊急時にも柔軟に対応できる勤務体制の仕組みをつくり、利用者の安定的な生活を維持するために、業務の標準化に向けた評価と改善を重ねてきた。また地域課題である高齢者を支える共助の仕組みについてNPO立上げを後方支援し、社会福祉法人の責務である地域貢献活動に寄与することができた。また、経営的な側面では土肥ホーム会計拠点に戸田デイサービス会計を統合することにより、会計業務の集約と一括管理に繋がった。

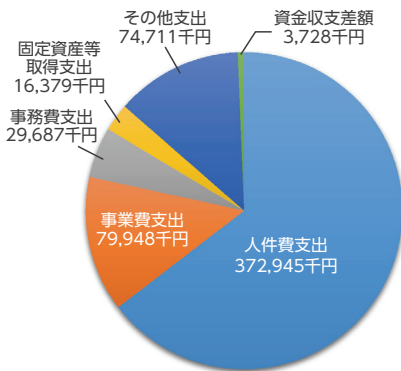
設備更新では国の助成を受け、コロナ感染症に関する感染対策設備と衛生用品の拡充を行った。老朽化設備では設備更新計画に則りエアコン・非常放送設備・厨房機器を更新した。

引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対策を講じ、再び穏やかな日常が戻ることを願って尚一層、感染対策の強化とご利用者様の安心・安全な生活を支えるよう取組んでいきたいと思っております。

令和2年度 土肥ホーム事業収入



令和2年度 土肥ホーム事業支出



※戸田デイ事業の会計を統合表記

～新人紹介～



平田 典子

【介護サポーター】

洗濯物の仕分け、整理等担当しています。お役に立てるように頑張ります。



豊口 由起子

【調理職員】

利用者様がお食事を楽みにしてくれるように頑張ります。



豊口アンデルソン 幸雄

【介護職員】

利用者様と毎日楽しく笑顔で過ごしたいです。

編集後記

令和3年4月より広報誌委員が変わりました！これから、私たちが「はまゆう」を通じて土肥ホーム・戸田デイサービス等の活動や取り組みをお届けします。掲載してほしい内容などがありましたら、是非ご意見をお寄せください。※表紙の「はまゆう」の文字横の花は、土肥ホームの敷内に咲いている「浜木綿（はまゆう）」の花です。

広報誌委員長：佐藤孝之

～コロナウイルス感染対策～



● コロナワクチン接種

事前に同意をいただいた入所者及び職員に対する接種を実施。大きなトラブルなく無事に終わりました。



● オンライン研修等

新たな試みとして出張研修や各種会議のオンライン化などICTの積極的な導入をしています。

～広報誌委員紹介～



佐藤 孝之

加賀 博樹

長倉 真里萌

深水 久美子

勝呂 留奈